

令和5年度 読書寸感文集

浜松工業高等学校 図書委員会



学年		科	寸感文
クラス	1年	C	この本を読むと、「今あるものを大切にしなければ」と感じる。あらすじは、主人公が自分の寿命を延ばすかわりに身のまわりのものが消えていってしまうというもの。電話や映画、時計、タイトルにもなっている猫。それらが消えたとき、自分ならどうするだろう。考えながら読んでいくと自分の像が見えてくる気がする。今あるものを当たり前にも思わない。そうすれば人は、もう少し優しく生きられるかもしれない。
氏名	* * * *		
書名	世界から猫が消えたなら		
作者名	川村元気		

学年			科	寸感文
クラス	1年	C		私はこの本を読んで、一日の価値について考えさせられた。物語の中に、闘病生活を送る咲良が主人公に「私も君も、一日の価値は同じだよ」と言う場面がある。私は今まで、病気などで余命が短い人にとっては一日一日がとても貴重なのだらうと思っていた。しかし、この言葉を聞いて病気が無くても一日の価値は同じく貴重だと気づいた。だから、もしもの時に悔いを残さないためにも今日を大切に生きたい。
氏名	* * * *			
書名	君の臓腑をたべたい			
作者名	住野よる			

学年		科	寸感文
クラス	1年	D	私は、この本を読み一旦立ち止って「私はどう生きたいのだろう」と考えさせられる内容だと思いました。この話では、コペルくんと呼ばれる中学生の主人公が誰しもが1回は直面する悩みなどに対し中学生らしく真正面からぶつっていく、その姿が健気で私はとても感動しました。ポイントとして俯瞰期な視点で物事を考えることと周囲に惑わされず自分の意思で決定する。この2つから私は、人生を改めて考えるためのヒントだと思いました。
氏名	*****		
書名	君たちはどう生きるか		
作者名	吉野源三郎		

学年		科	寸感文
クラス	1年	D	あなたは一生に1度だけ死者と再会できるなら誰を選びますか。一人の青年が大切な人を亡くした者と死者を再開させるツナグという職業を通じて成長していく。この本は死者と再会できることはいい事だけではないと気づかせてくれる。自分が知りたくない答えが帰ってくることもあるからだ。私は正直、現実の世界にツナグは存在しないと思う。だからこそ、これからは後悔がないように大切な人との時間を大切にしたいと思った。
氏名	*****		
書名	ツナグ		
作者名	辻村深月		

学年		科	寸感文
クラス	1年	A	「あなたには学校もあるし友だちもいます。でも私にはあなたしかいません。」これは主人公がゴールデンレトリバーを飼う時に交わした10の約束の内の一つである。10個全ての約束が、動物を飼うなら忘れてはいけないものだが、大人になるにつれ主人公は忘れて言ってしまう。初めは大切にしていたものが時間が経つにつれ煩わしく感じてしまうというのに既視感があり、忘れていたものを思い出させてくれるような本だった。
氏名	* * * *		
書名	犬と私の10の約束		
作者名	川口晴		

学年		科	寸感文
クラス	1年	A	「好きなだけ失敗したらいいって。」この本は、陸上経験のない顧問と六人の寄せ集めのメンバーが中学駅伝で県大会を目指し襷をつなぐ物語だ。初めのセリフは顧問の先生が生徒が正しい判断をできるように諭すシーン。失敗してはいけない私の固定概念を覆す言葉に勇気をもらいできなかった挑戦ができるようになった。この本には、たくさんの共感するシーンやかけてもらいたかった言葉が出てくる。ぜひ、一歩を踏み出してほしい。
氏名	* * * *		
書名	あと少し、もう少し		
作者名	瀬尾まいこ		

学年			科	寸感文
クラス	1年	P		この本は吉田松陰が遺した言葉を元にした自己啓発本です。吉田松陰は江戸時代の思想家として知られており、そんな吉田松陰の遺した教えを池田貴将が超訳したものが176掲載されています。その数ある言葉の中でも私は「やれば分かる」という言葉に共感をしました。これからの人生で困難な挑戦をする必要があるかもしれない。その時怖くて逃げ出したくなるかもしれません。しかし、やらなければ分からない、自分に勇気をくれた本です。
氏名	*****			
書名	覚悟の磨き方			
作者名	池田貴将			

学年 科			寸感文
クラス	1年	P	あなたはもし自分と性格や考える事が真逆な人と出会ったら何を感じるだろうか。この話は二人の対照的な女子高生が出会い剣道という価値観の違いでぶつかり合いながら成長する姿が描かれている。それぞれの考えや思いがぶつかり合うという事は、互いに譲れない程に強い信念を持って剣道を常に行なっていると考えた。自分自身も剣道を行なっている為一つの事を貫けるそんな自分の信念を持てる二人のような選手になりたいと感じた。
氏名	* * * *		
書名	武士道シックスティーン		
作者名	菅田哲也		

学年		科	寸感文
クラス	1年	Ma	「恥の多い人生を送ってきました。」この文章から伝わってくる太宰治の人生は衝撃的でした。人間社会の中で上手に生きることができない太宰治がだんだんと破滅していく様が文章からひしひしと体に伝わってきました。非常識だと感じる場面が多くありましたが、それこそが人間の弱さなのだと太宰治が語っているような話でした。読んでいるといつの間にか自分自身を太宰治の姿に重ねてしまう所に自分も弱い人間だと気づかされました。
氏名	* * * *		
書名	人間失格		
作者名	太宰治		

学年			科	寸感文
クラス	1年	Ma		僕は「一生に一度だけ、死者との再開を叶えてくれるという『使者』。」という言葉に心を惹かれ、この本を読んだ。物語の内容を大まかに言うと、様々な思いを抱えた生者が使者のもと死者に再開するというものだ。僕がこの本から学んだことは、身近な人といわれるのは決して当たり前などではないということである。現実では物語のように死者と再開することはできない。だからこそ、身近な人と過ごせる今を大切にしていきたい。
氏名	* * * *			
書名	ツナグ			
作者名	辻村深月			

学年		科	寸感文
クラス	1年	Mb	初めは本のタイトルを謎に思いこの本を手にとった。主人公は 脾臓の病気で余命が分かっている高校生で最終的に通り魔に殺さ れてしまいました。この本を読んで僕は人生は最後まで何がある か分からないという事を学びました。この物語のように余命が宣 告されたからと言ってそれまで必ず生きていられるとは限りませ ん。だから僕はこれから一日一日を大切にしたり、今を大切に生 きなければならないという事を考えさせられました。
氏名	* * * *		
書名	君の脾臓をたべたい		
作者名	住野よる		

学年		科	寸感文
クラス	1年	Mb	犬と出会って約2万年。地球上で最も親しい動物ともいえる犬たちは我々とのような関わり方をしているのか、なぜこれほどまでに我々の人生に深い影響を与えているのか分かる作品でした。この本は、犬と飼い主とのストーリーが20本記載されています。個性豊かな犬との出会い、別れ、些細な出来事など、飼い主と犬とのほのぼのとしたストーリーに驚きや感動が感じられ、飼い主や我々に犬が何を伝えたかったのかがわかる作品でした。
氏名	* * * *		
書名	犬が伝えたかったこと		
作者名	三浦健太		

学年 科			寸感文
クラス	1年	E	儚い。そう思う本だった。ごくあたりまえのような人、いつも笑顔の人にも悩みはあって、明るく喋る人でも悩みを人に明かすのは怖くて。大事なものは、人に悩みを明かす勇気じゃなくて、悩みから救いあげてくれる人が、そういう環境が常にあるということなのかなと思った。それは人を、人殺しにも救世主にも変えられる力がある。だから、僕も悩みを明かせる環境をつくり、つくられるような人間関係を築いていきたいと思った。
氏名	* * * *		
書名	あの夏が飽和する。		
作者名	カンザキイオリ		

学年			科	寸感文
クラス	1年	E		僕がぜひとも感想を書きたい本は、ひろゆき氏による「1パーセントの努力」だ。この本には、きっとあなたが考えつかなかったであろう、ひろゆき氏の驚くべき思考が盛り込まれている。突然だが、あなたは無駄な努力をしてしまっていないだろうか。よく有名人が努力はむくわれる的なことを言っているが、影響力のある人がそんなでたらめな事は言うべきではないと思う。決して努力がいけないという訳ではない。ムダな努力がだめなのだ。
氏名	*****			
書名	1パーセントの努力			
作者名	ひろゆき			

学年 科			寸感文
クラス	1年	Ei	本書「ちいかわ」は、登場人物らの日常を可愛らしく描いた作品です。一見すると子供向けの本ですが、実はそうではないのかもしれません。本書の登場人物らは自身の欲のままに行動する傾向があります。生活の中での些細な欲は、私たちは大人へと成長していくうちに少しずつ忘れてしまいました。「ちいかわ」を通して、子供の頃の純粋な欲を思い出してこれからを過ごしてほしい、そんな思いが本書には込められているのかもしれませんが。
氏名	* * * *		
書名	ちいかわ		
作者名	ナガノ		

学年 科			寸感文
クラス	1年	Ei	最近AI技術の進歩により様々な職業が失われつつあります。この作品の世界のようなすべての仕事がAIに奪われた世界もそう遠くはないように感じます。だれも仕事をしなくてもいいというのは一見、夢のようなことですが、本当にそれが幸せなのか「仕事」ということの意味をこの作品で考えさせられました。働く必要が無くなりつつある今だからこそ、本当の働く意味を考えていく必要があると思いました。
氏名	* * * *		
書名	タイタン		
作者名	野崎まど		

学年		科	寸感文
クラス	1年	R	だれもいないはずの理科実験室からガラスの割れる音がした。それをきっかけに、主人公の和子の時間と記憶をめぐる奇妙な事件が、という話。この本は映画にもなっている青春を感じられる本です。自分がこの本を読んで思ったことは、この物語は「期待」で始まり「期待」で終わる本だと思います。ただ読むだけでなく、色々なところを細かく見ていくと、かなり奥の深い本だと思ったので、興味がある人に読んで欲しいと思います。
氏名	* * * *		
書名	時をかける少女		
作者名	筒井康隆		

学年		科	寸感文
クラス	1年	R	この小説は11才にして母親を殺害した少女の絵から始まります。一見普通の絵なのですが、そこから4章にわたり1つの謎が解明されていきます。章を追うごとに全9枚の絵が出てきます。読み進めるごとに今までの話が次々とつながっていき、過去に張られた伏線を回収していくのはどこか不気味でゾッとします。さらにこの小説を読み終えた後、もう一度最初の絵を見るとこの小説を読む前と比べて全く違う印象を受けました。
氏名	*****		
書名	変な絵		
作者名	雨穴		

学年			科	寸感文
クラス	2年	C		このお話は主人公の男子中学生が自殺し、天国に着いたところから物語が始まる。彼はそこで「使命を与えられた6ヶ月間、自殺した人物の身体に宿る」と神に告げられる。そんな中、彼はうまくいっていない家族と暮らし始める。主人公は家族の中での問題や葛藤を目にしながら成長していく。この物語は、人生を真剣に向き合うことの大切さを再認識させてくれる。私はこの物語を読んだ後、心が暖かくなるような感覚が残った。
氏名	* * * *			
書名	カラフル			
作者名	森 絵都			

学年			科	寸感文
クラス	2年	C		他人から認めてもらうというのは、とても難しいことである。自分の気持ちは自分にしか分からない様に、他人の気持ちは分からない。元誘拐犯とその被害者というレッテルを貼られた更紗と文が、そんな生きづらい中で一緒に生きていくことを選択したこと。二人が幸せならそれでいい、本当のことを私達だけが知っていればいいと認めた梨花。他人からどう見られているかよりも、私が何をしたいのか。もっと自分を大切にしようと思った。
氏名	* * * *			
書名	流浪の月			
作者名	凧良 ゆう			

学年		科	寸感文
クラス	2年	D	世界は悪くなっている、誰もがそう思っているという。犯罪や経済の悪化、さまざまな問題がある今、メディアはそれを伝える。しかし僕は、この本に出会ってから、思い込みを捨てることの大切さを学んだ。結論、世界は悪くなっていない。テレビは、幸せなニュースは伝えない。氷山の一例を見て、全てを備えることは不可能だ。それは小さな水が浮いているだけかもしれない。真実を得る方法はネット社会を生きるうえで必定なことだと思う。
氏名	* * * *		
書名	FACT FULNESS		
作者名	ハンス・ロスリング		

学年		科	寸感文
クラス	2年	D	タイトルとは反し、この本の主人公はとても人間味に溢れた人物だと思った。周りの人間にどう思われているのか恐れ、自分が思う「良い人間」を演じ、どうにかして日々を生き抜く。そういったところに、現代を生きる「私たち」と同じようなものを感じた。だが、第三者の視点から見ると、主人公の不安は杞憂であり、自分を偽る必要はないと思った。だから私も、人間関係について深く悩み過ぎず、ありのままで生きたいと思った。
氏名	* * * *		
書名	人間失格		
作者名	太宰治		

学年		科	寸感文
クラス	2年	A	この本は、四人の銀行強盗が逃走中に、他の現金輸送車襲撃犯に「売上」を横取りされてしまい、奪い返そうとする物語です。四人にはそれぞれ、嘘を見抜く力、スリの天才、演説名人、精確な体内時計という特徴的な才能が備わっており、それらを活かして苦難を乗り越えていきます。途中、様々な事件などがからまり、最後まで読みごたえのある作品です。ぜひ読んでみるべきだと思いました。
氏名	* * * *		
書名	陽気なギャングが地球を回す		
作者名	伊坂幸太郎		

学年		科	寸感文
クラス	2年	A	この本は、幼少時、何者かに両親を惨殺された三兄妹が十四年後、詐欺師として働きながら真犯人を追い詰めるという本だ。 私はこの本を読んで、身寄りのない三兄妹が力を合わせ力強く生きていく絆に心を打たれた。犯人を突き止める最初で最後の機会を詐欺師として培った経験を武器に三人で協力する姿は四人兄妹である私にとって心を揺さぶられるものがあった。この作品を読み、改めて兄妹そして家族を大切にしようと感じた。
氏名	*****		
書名	流星の絆		
作者名	東野圭吾		

学年		科	寸感文
クラス	2年	P	私は「成功した時こそ反省せよ」という言葉に心打たれた。失敗した原因を追究するのと同じように 成功した要因を追究すれば成功に至るプロセスが見えてくる。プロセスを掴めば、必然的な成功を何度でも再現できるそう。私は部活動での成績に波があり、好成績を残し続けられないことに悩んでいる。必然的な成功を継続するために、失敗だけでなく成功のプロセスにも目を向けてみようと思う。
氏名	*****		
書名	トヨタ流「最強の社員」さこう育つ		
作者名	若松義人		

学年		科	寸感文
クラス	2年	P	みなさんは明日死んでしまうとしたら何をしますか。この本に出てくる主人公木藤座地さんは、脊髄小脳変性症という病気にかかってしまい手足や言葉の自由が奪われ二十五歳の若さで亡くなってしまう。僕はこの本と読んで人間はいつ自由が奪われいつ死ぬのか分からないことに恐怖を感じました。今日も世界で誰かが苦しんでいるかもしれません。僕はその事を忘れず生きている事に感謝をし、一日一日を大切にしていきたいと思いました。
氏名	*****		
書名	1リットルの涙		
作者名	木藤亜也		

学年		科	寸感文
クラス	2年	Ma	僕はある言葉が印象に残っています。それは「なんでも自分でやるのが自立ではない。助けを求めることも大切なこと。」という言葉です。最初は自立という何事も自分でやることだと思ってました。しかし時には助けを求めることも自立であると知りました。この本は、自分に本当の自立を教えてくれた一冊でした。今後、自分で物事に取り組み、悩んだ時には助けてもらいながら取り組んでいきたいと思いました。
氏名	*****		
書名	with you		
作者名	濱野京子		

学年		科	寸感文
クラス	2年	Ma	高校生で思春期になり、人生の意味を考える人が多いのではないのでしょうか。作者は医者として亡くなれる人の話を聞いています。話を聞く中で最初は「自分は恵まれていない人生だった。」と考える人も、死が近づくにつれ「恵まれていなかったが、その中でも一生懸命頑張った。」と人生を肯定的に見られるようになる人が多いそうです。自分も何事にも全力で挑戦し、将来自分の過去を振り返った時に頑張ったと満足できる人生にしたいです。
氏名	* * * *		
書名	もしあと一年で人生が終わるとしたら？		
作者名	小澤竹俊		

学年		科	寸感文
クラス	2年	Mb	人と人との繋がりは美しいが、人と“物“との繋がりも切なく美しい事だとこの本を読んで感じました。この物語は、少女とコップの物語です。少女が幼い時に雑貨店で見つけたコップ。少女が大人になるまで二人はずっと一緒でした。自分にも大切な物があります。自分の大切な物は、振り返るとどんな時でも一緒にいます。この本は、少女とコップの関係が違和感なく家族のように描かれていて最後はおもわず涙してしまいました。
氏名	* * * *		
書名	ハルカと月の王子様		
作者名	鈴木おさむ		

学年		科	寸感文
クラス	2年	Mb	僕は、この本を読み、改めて牧野富太郎博士の驚異的な植物学への熱意と功績に驚かされた。牧野博士は千五百もの新種を発見した世界的学者となったが、その道のりは理不尽な研究環境の縮小や慢性的な貧乏など非常に困難なものだった。そんな逆境の中でも、植物への想いを胸に邁進する富太郎、そしてその想いに動かされ、手を差し伸べる人々の温もりは、正に人間讃歌とでも呼ぶべき、感動と賞讃に値する素晴らしいものだった。
氏名	*****		
書名	はじめて読む科学者伝記 牧野富太郎“日本植物学の父“		
作者名	清水洋美		

学年 科			寸感文
クラス	2年	E	アニメ「ドラえもん」の「のび太」ときくと勉強も運動もできないいつもぐうたらしている男の子というイメージが強いのではないだろうか。しかし、この本ではのび太は想像以上に人生を上手に歩んでいると描かれている。その中でドラえもんが未来に帰るシーンでは、のび太が愛する人の力が自分の心を強くしているという視点で捉えていた。筆者は、のび太の欠点とも思える部分を人として大切な部分として捉えていたことがすごいと思った。
氏名	* * * *		
書名	「のび太」という生き方		
作者名	横山泰行		

学年 科			寸感文
クラス	2年	E	この本は、主人公である佐倉真司が同級生の花森雪希にさそわれて最初は疑いながらも、死者の未練を晴らす内容のバイトを行う話です。私は、主人公が死者に対して向き合う中で人生の無常やこの世の不条理に気づく部分から「人生に後悔しないように精一杯生きていこう。」という作者の思いを感じました。私は、この本を通して「毎日、なんとなくで生きているだけではない。」と自分自身の人生について深く考えさせられました。
氏名	* * * *		
書名	時給300円の死神		
作者名	藤まる		

学年			科	寸感文
クラス	2年	Ei		この本は一種の自己啓発本となっており、やまとという人間がどのような哲学をもって生きているかを知ることができる。 馬鹿にしながらも読んでみると、意外といい言葉がでてくる。私のお気に入り「僕の人生に失敗はない。ただ学機があるだけだ」という言葉。失敗を恐れず行動し、失敗してもそれは学びだと考え、経験を積み重ねて成功へと導く。私もこのような考えをもって様々なことに挑戦したいと思った。
氏名	* * * *			
書名	聖域			
作者名	コムドット やまと			

学年 科			寸感文
クラス	2年	Ei	日常生活において、法律を知らないことで、他人の権利を侵害してしまっていたり、法律に接触してしまっていたりすることがたくさんあると思った。また、逆に行使しきれていない権利がたくさんあることも知った。多くの人が、法律を正しく知ることが、犯罪への抑止力となったり、正当な権利の行使につながったりすることから、子供を含めた、誰もが法律を知ることができる。この本は多くの人に読まれるべきだと感じた。
氏名	* * * *		
書名	こども六法		
作者名	山崎聡一郎		

学年		科	寸感文
クラス	2年	R	この本は、「マイクラフト」というゲームをモチーフにした小説だ。しかし、物語すべてがゲームの中の世界のみで進んでいくわけではなく、ゲームを通して仲間と出会い、友情を育み、現実の苦難に立ち向かっていく物語だ。ここでいう現実の苦難とは何か。主人公が大切なものを失ってからストーリーが始まっていく。その主人公がマイクラフトの中で仲間と現実に向き合っていくそんなゲームと現実が混ざり合った物語である。
氏名	* * * *		
書名	マイクラフト壊れた世界		
作者名	トラスト・パディースト		

学年		科	寸感文
クラス	2年	R	子供はとても好奇心旺盛で冒険好きである。特に昔の子供達は外の世界を知り、そこで生き抜く力が必要だったため、様々な体験をしたらう。 子供なりに考えて行動し、仲間を集め、協力し、問題を解決する。現代の多くの大人は子供に問題を起こさせない、または、問題が起きてても大人がすぐに解決しようとする傾向がある。これは、本当に子供のためになるのかを改めて考えさせられる本だった。
氏名	* * * *		
書名	エミールと探偵たち		
作者名	エーリッヒ・ケストナー		

学年		科	寸感文
クラス	3年	C	私は親が農業をやっているの、農業について知っているつもりだったが、この本を読んであたりまえなことの大切さや知らなかったことの発見がありました。 特に命をいただくのが農業という表現には、本当にそうだと感謝の念を抱きました。 この本には、日本の農業の素晴らしさやこれからの課題も提示しており、どうすればいいのかを考えさせられます。これからの農業の発展のきっかけになると思いました。
氏名	*****		
書名	タガヤセ！日本：「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます		
作者名	白石優生		

学年			科	寸感文
クラス	3年	C		この本は、平和を祈っている気持ちの移り変わりが書かれています。戦時中のモノクロ写真をカラー化した写真集をきっかけに、遠い昔の話のはずだった戦争を近くに感じた場面が心に残りました。終戦から78年が経ち、戦争を経験した人が少なくなる中で、戦争を知らない僕たちのような若い人達がどう後世に伝えていくべきなのかを考えるべきだと思いました。
氏名	* * * *			
書名	モノクロの夏に帰る			
作者名	額賀滯			

学年		科	寸感文
クラス	3年	D	この本を読むきっかけとなったのは、修学旅行で観劇した宝塚歌劇団の原作だったからです。主人公のディミトリとルスダンの一生を書いたもので、すれ違いや裏切りなど途中苦しくなる場面がたくさんありました。しかし、どんなことがあっても互いを想い合う気持ちが国家や宗教、民族を超える二人の姿にラストは涙が止まりませんでした。劇では描かれない場面や言葉の美しさが感じられて何度でも読み返したい本です。
氏名	*****		
書名	斜陽の国のルスダン		
作者名	並木陽		

学年		科	寸感文
クラス	3年	D	私は『さくらの花』を読んで、もし辛いことや苦しいことがあっても、必ず結果が出ると勇気を貰った。この話の主人公は部活でレギュラーを外され、おばあちゃんに八つ当たりをしてしまい、後悔する。そんな中、冬から春へ季節が移り変わり、桜の花が一つ咲いた。「その時期が来たらね。桜は、ちゃんと咲くものなの。」この言葉に元気を貰った。今、進路が決まるか、その環境の変化についていけるのか不安でいっぱいだけれどこの言葉を思い出して頑張りたい。
氏名	*****		
書名	さくらの花		
作者名	橘つばさ		

学年		科	寸感文
クラス	3年	A	この本は、クライスメイトからのイジメを苦に自殺をした主人公が死後49日間過ごし天国か地獄、どちらに行くか決める物語だ。復讐がしたく自殺をした主人公だったが、幽霊となり自分がいなくなった世界で初めて友情の温かさや家族の大切さを知る。僕はこの本を読んで言葉の重さを改めて感じる事ができた。言葉は一言で救うこともあるが一言で死に追いやることもできてしまう。自分の言葉に責任を持ち行動していきたい。
氏名	* * * *		
書名	天国までの49日間		
作者名	櫻井千姫		

学年		科	寸感文
クラス	3年	A	この本は、戦争が終了し、多くの人間が火星に移住する中、地球で逃亡してきたアンドロイドたちを狩る人々の話だ。題名の通り、アンドロイドに感情があるかどうかをテーマとしている。主人公たちは、何も疑問を抱かず、アンドロイドを敵と認識している。機械だから、感情がないからと言って、アンドロイドを奴隷のように扱ってはいけない。AIと共存しつつある現在、人間とアンドロイドの関わり方について考えていかなければならない。
氏名	*****		
書名	アンドロイドは電気羊の夢を見るか？		
作者名	フィリップ・K・ディック		

学年 科			寸感文
クラス	3年	P	私はこの本を読んで、お金も、愛情にも恵まれていなかった俊太が、岩熊自転車のおっちゃんと、出会ったことによってロードバイクに乗るという夢を叶えていく姿に、本当に感動しました。ロードレースだけの話ではなく、母と子、父と子の関係や、友達関係など、この作品を通して、今、自分の環境がどれだけ恵まれているか実感しました。人は支えてくれる人がたった一人でもいるだけで、どれだけ救われるか。その大切さがわかりました。
氏名	* * * *		
書名	スマイリング! 岩熊自転車 関口俊太		
作者名	土橋章宏		

学年		科	寸感文
クラス	3年	P	私はこの本を読んで思ったのは、スポーツで人間は変わることだ。学校の生活の態度や生活態度が悪くて、お母さんを困らせることもあったけど、その子自身の心はまだあたたかいままだったのに、おどろいた。たまに地域で見かける「悪がき」にも、この子のような心があるのだと思ったら意外と怖くないと思った。野球のおかげで、この子の人生が大きく変わり、幸せになったのでこういう人が増えてほしいと思った。
氏名	*****		
書名	最後のプレイボール		
作者名	岩崎夏海		

学年			科	寸感文
クラス	3年	Ma		この本は、トヨタ自動車を創業した豊田喜一郎の一生をまとめた一冊です。自動織機を製作する家庭から豊田喜一郎は生まれました。彼が工場長となり、小型エンジンの試作を始め、自動車事業へ進出が始まりました。当時は車作りの知識や技術が日本には無かったが車作りの情熱や、常に努力、挑戦し続ける姿により小型乗用車の製作に成功しました。また、彼の経験が多くの人達を支え、亡き後も会社を発展させる形となりました。
氏名	* * * *			
書名	豊田喜一郎伝			
作者名	甲斐謙二			

学年			科	寸感文
クラス	3年	Ma		私が読んだ「時限病棟」は男女五人が廃病院から脱出しようというミステリー小説であり、同作者の小説「仮面病棟」の続編となっている。この話は五人が脱出に向けて謎解きをしていくなかでそれぞれの抱える「嘘」が現れていく。そして、登場人物それぞれが自分たちの「嘘」に苦しめられていく。私はこの物語から人間の中に隠れる小さな闇が、繰り返し積み重ねられ襲ってくることに恐怖を感じた。
氏名	* * * *			
書名	時限病棟			
作者名	知念実希人			

学年		科	寸感文
クラス	3年	Mb	もし、未来から来た少女に「あなたは殺される」と伝えられた時、あなたは何をしますか？この本の主人公は、普通の大学生である。ある日、憧れだった同じ大学の女性が行方不明になり、その人を探している途中で、殺されてしまうと、未来から来た謎の少女に告げられる。主人公は、その未来を変え、女性を助けるために行動するという物語だ。いろんな展開があり、驚くことが多い。謎が解明された時のスッキリ感がたまらない。
氏名	* * * *		
書名	僕が殺された未来		
作者名	春畑行成		

学年		科	寸感文
クラス	3年	Mb	「満月珈琲店」は、気まぐれに現れ、お客様のとっておきのフードを提供し、お客様の悩みを星術で解く小説です。この本は、イラスト付きで、一つ一つの絵に小説の中での話に合ったイラストがありとても可愛くそれだけでも十分満足ですが、人の悩みがとても現実的でとても分かりやすく、味のあるストーリーで同じ世界線の中でも人によって違う悩みを星詠みマスターがスッキリと解消してくれるいいお話です。
氏名	* * * *		
書名	満月珈琲店の星詠み		
作者名	望月麻衣		

学年 科			寸感文
クラス	3年	E	主人公のクイールは、小さい頃から盲導犬になるために色々な訓練を受けて目の不自由な人を支える役目を果たしてきた犬です。盲導犬の訓練は、とても厳しくてさらに、犬が嫌がっていることを無理矢理やらせることがとてもかわいそうだなと思いました。しかし、この本を読んで犬は人のために働いたりパートナーの言うことを守ったりすることが楽しいということを知り、そのうよな見方もあるのだなと思いました。
氏名	* * * *		
書名	盲導犬クイールの一生		
作者名	石黒謙吾		

学年 科			寸感文
クラス	3年	E	この本の主人公は小1から中1までチェロをやっていて、コンクールに出るのですが、その時の緊張が「頭が真っ白になる」という言葉から読み取れ、自分が部活動の試合に出た時も緊張していたのでごく共感しました。また主人公は辛い過去を乗り越え、やりたい事に挑戦していてすごいなと思いました。自分もどんな年齢になっても挑戦することをやめない人間になりたいと思いました。そして後悔のないようにしたいです。
氏名	* * * *		
書名	ラブカは静かに弓を持つ		
作者名	安壇美緒		

学年			科	寸感文
クラス	3年		Ei	人生には様々な選択がある。そして選択したことで後悔したくない。これがこの本を読んで感じたことです。この本は二人の主人公の人生、恋愛を描いた物語で、作中を通して自分で選んだ選択ならば結果がどうあれ後悔はないという考え方が一貫されていました。また、同じ場面を描いているプロローグ、エピローグも主人公の選択を見届けると、まったく違う感想が浮かんでくる作りになっていて、結果がすべてではないと思いました。
氏名	* * * *			
書名	汝、星のごとく			
作者名	凧良ゆう			

学年 科			寸感文
クラス	3年	Ei	この本は、伝統楽器のルバーブを奪われた主人公がルバーブ取り戻すために様々な人と物々交換をしていく物語です。 この本を読んで、仲間と協力する事の大切さを学びました。仲間との協力をして互いに支え合う事で不可能と思ったことが可能になると思っています。今後、自分自身が困難に直面した時には、仲間との協力をして解決するようにしたいです。このように協力することで仲間との絆がより深まると思います。
氏名	* * * *		
書名	11番目の取引		
作者名	アリッサ・ホリングワース		

学年		科	寸感文
クラス	3年	R	この話の主人公は、犬という生き物がどうも気に入らないらしい。馬を狩ることのできる猛獣が自らを卑下して人間と馴れ合っている様子に戦慄する。主人公は犬の恐ろしさを見抜き、犬の傍を通る時は身だしなみを整え、笑顔を作ることによって彼らのご機嫌をとっていた。つまりこれは主人公が自分と犬を重ね、「自己嫌悪」する話である。太宰ほど人間味をうまく書ける人はいない。僕は、話の内容はもちろん、太宰の表現力に感銘を受けた。
氏名	* * * *		
書名	畜犬談		
作者名	太宰治		

学年		科	寸感文
クラス	3年	R	私はこの本を読んで戦争の恐ろしさ、理不尽さを改めて感じました。話の始まりは戦時中の日本。当時の特攻隊員である彰の自分の命を懸けてまでも国のために戦う姿は、私には考えられませんでした。さらに、それが今の私と同年であった人たちも背負っていた宿命であったことも残酷に思いました。そして今の平和な世界は、多くの人の苦しみや犠牲の上に築かれた世界だと、戦争は絶対にしてはならないことだと、そう思われました。
氏名	*****		
書名	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら		
作者名	汐見夏衛		